

# 障害のある子どもと創る 教育実践 ≡ オンライン学習会 ≡

実践報告 ● 鈴木輝子さん (茨城・公立学校教員)

「ボク描きたいー重症児の伝えようとする力を育てる」

学習講座 ● 細渕富夫さん (川口短期大学教授)

「障害の重い子どもたちから学ぶ」

2023.2.23 (木・祝日)

13:30~16:00 13:00から入室できます。

参加費 無料



## ● 鈴木輝子さん

障害のある子どもの教育、特に訪問教育の実践をになって来られました。重症心身障害児教育では、子どものわずかな動きを見落とさないで、窓を探り、そこから子どもの内面に入るやわらかい声掛けや触れ合いが大事です。子どもが変わり、親が変わり、看護師や医師も変わった鈴木実践に学び合いましょう。『子どものねがいと教師の仕事』(全障研出版)に実践記録を掲載しています。

## ● 細渕富夫さん

どんなに障害が重くてもその子なりの思いやねがいをもち、表現しています。「この子は何かを伝えようとしている」という思いで受け止め、その子にわかりやすいやり方で返していくことが、かかわりあい(コミュニケーション)の出発点です。子どもたちの内面を尊重した優れた教育実践から深く学びあいましょう。著書『障害の重い子どもの発達と生活』(全障研出版)


## ■ 全障研大会

全国障害者研究会は、障害者の権利を守り、発達を保障するために、理論と実践を統合的にとらえた自主的民主的研究運動を発展させることを目的とし、障害の種類や程度、また職業や立場を越えて、障害者の総合的権利保障をめざし活動する研究会です。すべてのライフステージを網羅した全国大会が、2023年8月5日~6日にオンラインで開催されます。乳幼児期、学齢期、青年成人期など21分科会、他に4フォーラム、学習講座、そして記念講演もあります。そんな学べる大会の情報を、本学習会参加者には、引き続きお知らせいたします。

参加申込み ▶ メール: 船橋秀彦 [funabashi@msi.biglobe.ne.jp](mailto:funabashi@msi.biglobe.ne.jp)

①お名前 ②住所(県名) ③メールアドレス ④電話番号 をお知らせください。

申込み締め切りは 2月17日 です。

主催  全国障害者問題研究会 茨城支部